

2025-02-03 のラボノート

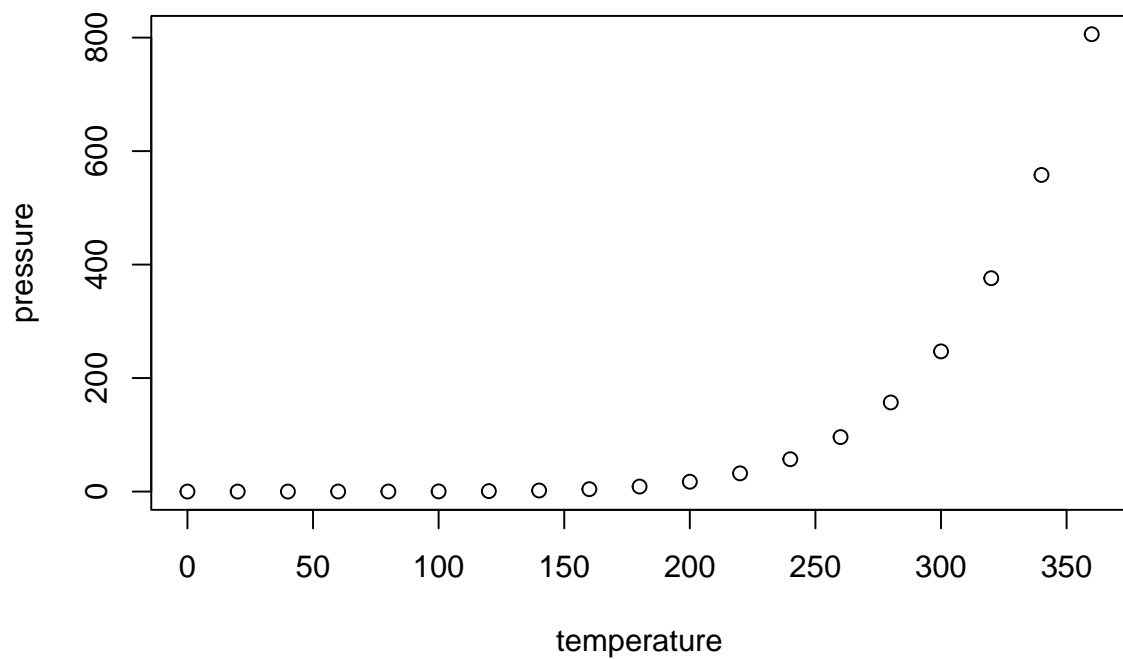
ラボノート作成日：2025-02-03

実施した内容

- ・ 展望論文修正・ 博論構想・ 野間さんの資料作成手伝った

得られた結果

- ・ グリットでなきゃいけない理由は？ Cormier et al. (2024) では、メンタルタフネス、セルフコントロール、誠実性をコントロールしても主観的パフォーマンスを予測。状況への適応が特に予測。スポーツでの幸福感は粘り強さをが予測
- ・ Guo et al., [11] のメタ分析では、PE と CI の $r=.43$
- ・ 情熱と忍耐はそれぞれ目標コミットメントと目標努力に対応し、目標努力に必要な相補的だが独立した活動である (Southwick ら, [15]、Keller ら, [14] も参照)
- ・ Duckworth & Quinn (2021) → <https://web.p.ebscohost.com/ehost/detail/detail?vid=1&sid=e90d1a5c-2e14-407c-92f2-afb1e91de0e4%40redis&bdata=Jmxhbm9amEmc2l0ZT1laG9zdC1saXZl#AN=152079266&db=bth> 他の多次元構成概念と同様に、グリットのどちらか一方の側面に特に関心のある研究者は、下位尺度を別々に採点してもかまわない。しかし、我々が定義したグリットの構成概念を測定する場合、両方の下位尺度の合計を使用することを推奨する。
- ・ <https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S019130852030006X>



結果についての解釈・議論・今後の予定

・ grit は主観的パフォーマンスに対しては効果があるという研究が多い気がする・主観的認知とよく関連するということは → 変動もしやすいかも?・ダックワースは Grit - S の間違いを認めているんだなと思った。・